

昨年、衝撃の事件あったけど…

更生保護 やっぱり大切だ

監督招き上映会、トーク

村山

大津市で昨年5月に保護司殺害事件が起きるなど保護司制度が大きな分岐点に立つ中、更生保護をテーマにした映画「ミックスモダン」が県内で初めて村山市民会

館で上映された。実際に保護司として活動する藤原穂三監督を招き、トークショーも開催。来場者は藤原監督から作品に込めた思いや保護司としてのモットーなどを聞き、更生保護の重要



作品への思いや保護司としてのモットーなどを語る
藤原穂三監督
村山市民会館

性を再認識していた。

上映会は、北村山地区保護司会(笹原啓一会長)が昨年12月11日に企画した。「ミックス」は大阪でお

好み焼き店を営み、少年院に入った18歳の少年の身元引受人となった夫婦の物語。窃盗で逮捕され「生まれ変わりたい」と思いながらも、再び親に捨てられ、昔の仲間に連絡を取ってしまふ少年の葛藤や夫婦の思い、絆などをリアルに描いた。

藤原監督は1956(昭和31)年、大阪府和泉市生まれ。裕福な家庭に生まれたが、家業の倒産を機に父の家庭内暴力が始まり非行に走った。映画に救われ、俳優として活躍するも舌が人を患い、演出家、映画監督に軸足を置くようになった。2019年に元受刑者の就労を支援するシンポジ

ウムに参加し、21年に保護司になった。

「ミックス」では、藤原監督自らが少年を引き受けたお好み焼き店の店主として出演した。上映後、藤原監督が登場。来場者から「犯罪者がやり直そうとしても無理なのではと思ってしまふ。どう考えたらいいのか」との質問があった。藤原監督は非行少年に寄り添い、ともに勉強する中でどんどん変わっていったことなどを紹介し、「学

ぶチャンスがなかっただけで、いろいろな可能性はある。一緒に考えることが大事」と訴えた。保護司殺害事件にも触れ、「許されないうし、かなりショックだった。家族の反対で保護司を辞めた人もいる。保護司の問題を提起された」と語った。

笹原会長は「保護司につ

員として、千葉県出身の広

ワイド地域

- 酒田支社 0234(22)1580
- 鶴岡支社 0235(22)2810
- 新庄支社 0233(22)3580
- 尾花沢支社 0237(22)0165

- 村山支社 0237(55)2532
- 東根支社 0237(43)7333
- 寒河江支社 0237(86)4241

いてあらためて考えるきっかけになった。多くの人が見てほしい」と話した。映画は2025年秋に一般公

小林さん
今月1日
で4期目
山形地

る小林春
池黒川へ
8日、同

南陽
人権
小林